

いずも市議会だより



あけまして
おめでとようございます
本年もよろしく
お願いいたします

出雲大社宮兆行事

● 議会の動き	2	● 行政視察報告	18
● 委員会報告	3	● 採決の結果	20
● 請願・陳情	6	● 議員紹介	22
● 一般質問	7	● 議会活動・編集後記	24

いずも市議会だより 第19号
発行日/平成22年(2010)1月28日
編集/広報委員会 発行/出雲市議会
TEL21-6579 FAX21-6251

12月定例会市議会 報告

一般職の職員の給与等を減額する条例を
可決するなど、29議案を議決しました。

12月定例会市議会では、29件の議案が提案されました。その内容は、「平成21年度(2009)出雲市一般会計第4回補正予算」などの予算案件6件、「出雲市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」などの条例案件8件、「出雲市土地開発公社の定款の変更について」などの一般案件13件、「人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて」の人事案件1件が提案され、このうち26議案を原案のとおり可決または同意しました。

「出雲市・斐川町合併協議会の設置について」など出雲市と斐川町の合併に関連する議案2件(予算・一般案件)については、斐川町議会が否決したことから、市長から議案の撤回の申し出があり、本会議において承認しました。

議員提出議案としては、「改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書」を提出し、原案のとおり可決しました。



平成21年度

第4回 出雲市議会 (定例会) 会期日程

開会 平成21年(2009)11月30日(月) 閉会 平成21年(2009)12月21日(月)

会期22日間

11月30日(月) 本会議(開会、議案上程・説明)
総務委員会、本会議(委員長報告、討論、採決)
12月 3日(木) 本会議(一般質問・1日目)
4日(金) 本会議(一般質問・2日目)
7日(月) 本会議(一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託)
9日(水) 予算特別委員会(総括質疑)
10日(木) 総務委員会・予算特別委員会総務分科会

11日(金) 文教厚生委員会・予算特別委員会文教厚生分科会
14日(月) 環境経済委員会・予算特別委員会環境経済分科会
15日(火) 建設水道委員会・予算特別委員会建設水道分科会
17日(木) 予算特別委員会(分科会長報告、質疑、採決)
21日(月) 出雲・斐川合併特別委員会
本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)

常任委員会報告

平田コミュニティセンター早期建設に関する
陳情は趣旨採択

総務委員会

本委員会に付託を受けた案件は、
条例案件三件、単行議決案件三件、
請願一件、陳情二件です。

この内、議第四十二号「出雲市一
般職の職員の給与に関する条例等の
一部を改正する条例」については年
内に施行する必要があることから、
議会初日に審査しました。

この条例案は、市の一般職の職員
の給与を平均で月額〇・一七%引き下
げ、期末・勤勉手当を〇・二月分引き
下げるものです。また、特別職の期
末手当についても〇・一五月分引き下
げるものです。一部委員から一般職
の給与の引き下げは、景気刺激策に
逆行するとの反対意見がありました
が、賛成多数で可決しました。これ
で四十二・四歳の平均年齢職員で、年

間所得額は五百六十九万二千円とな
り八万六千円の減額となります。

請願第十二号「改正貸金業法の早
期完全施行等を求める意見書を政府
などに提出することを求める請願」に
ついては、全会一致で採択しました。

この請願は、昨今の不況に伴い多
重債務者が増えており、その苦しみ
で死を選ぶ人も多いことから、改正
貸金業法の早期完全施行を求める意
見書を政府に提出を求める請願で
す。自殺者が今年で十二年連続三万
人を超えました。この現実を早期に
食い止めるためにも必要なこととし
て、意見書の提出を全会一致で採択
しました。

陳情第十号「公共工事における電
気設備工事の分離発注に関する陳

情」についても採択しました。

陳情第十四号「平田コミュニティ
センターの早期建設に関する陳情」
については、現地視察を行い陳情者
から直接意見を聞くなどし、審査し
た結果、陳情者の願意は十分理解で
きるものの、平田支所との複合施設と
して建設を求めることは、平田支所の
今後のあり方が不明確な現時点にお
いては困難ではないかななどの理由
で、趣旨採択としました。



改築陳情の出された平田コミュニティセンター

出雲・斐川合併特別
委員会が発足しました

市議会では、出雲・斐川合併特
別委員会（十二名で構成）を設置
して、本市と斐川町の合併問題に
関することを調査することとしま
した。

十二月議会で提案された合併に
関する二議案は、斐川町議会が否
決したことから、議案の撤回の承
認をしましたが、委員会では、今
後も斐川町との合併に関する問題
について、調査を行う予定です。

出雲・斐川合併特別委員会

- | | | |
|------|-------|-------|
| 委員長 | 寺田 昌弘 | 高野 成俊 |
| 副委員長 | 福代 秀洋 | 直良 昌幸 |
| 委員 | 大國 陽介 | 勝部 順子 |
| | 多々納剛人 | 多久和康司 |
| | 曾田 盛雄 | 荒木 孝 |
| | | 珍部 全吾 |
| | | 杉谷 寿之 |

市立大社保育所を民営化に

文教厚生委員会

本委員会に審査の付託を受けた案件は、議案八件、継続審査となつて
いるものも含め、請願・陳情六件で
す。主なものとして議第四十三号
「出雲市立保育所設置条例の一部を
改正する条例」は、市立大社保育所
を平成二十二年四月一日か
ら民営化することに伴い、

所要の条例改正を行うもの
です。審査の結果可決すべ
きと決定しました。なお、
一部の委員から否決すべ
きとの意見がありました。

議第五十一号「公の施設
の指定管理者の指定」は、
出雲ゆうプラザの指定管理
者の指定をするものであ
り、審査の結果、原案のと
おり可決すべきと決定しま
した。なお、一部の委員か
ら否決すべきとの意見があ
りました。

陳情第十一号「高齢者へ



民営化される市立大社保育所

の肺炎球菌ワクチン接種の推進と接
種への公費助成を求める陳情」は、
審査の結果、採択すべきと決定いた
しました。一部の委員からは趣旨採
択とすべきとの意見がありました。

トキ分散飼育センターの工事請負契約議案を可決

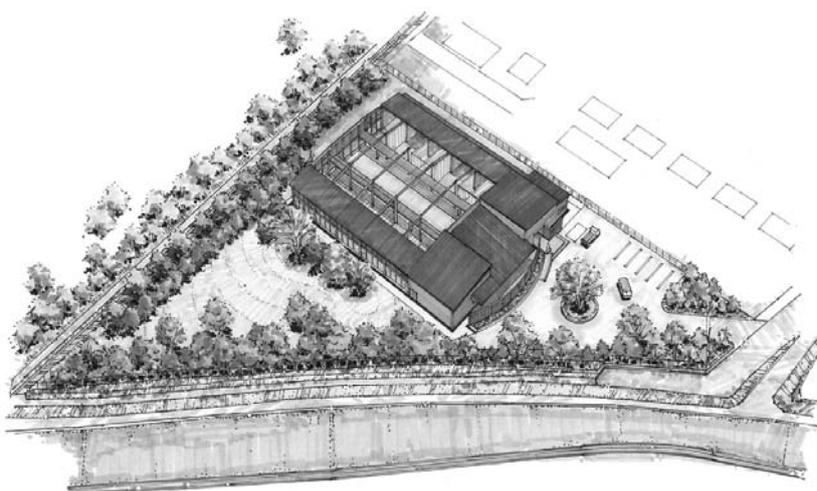
環境経済委員会

議第五十三号「工事請負契約の締
結」は、市が、平成二十年十二月に
環境省からトキ分散飼育実施地に決
定されたことに伴い、トキ分散飼育
センターを出雲市西新町に建設する
契約締結の議決を求めるも
のでした。

現地視察を実施し、審査
の結果、可決しました。

なお、今回の議案内容で
はありませんが、審議の中
で今回の建設予定地につい
て、市有地と県有地の等価
交換について疑義があると
の意見、市の財政事情が厳
しいため、トキの飼育に対
して国・県からの財政支援
をより一層求めるべき、あ
るいは今回の計画を一時凍
結すべきとの意見がありま
した。

また、トキ飼育に関して
のメリットなどについて、
市の将来的なビジョンを策



出雲市トキ分散飼育センター（仮称）イメージ図

定し、市民への説明を今まで以上に
積極的に行っていくべきとの意見も
ありました。

市営住宅を県住宅供給公社に管理委託

建設水道委員会

本委員会に審査の付託を受けた案件は、議案六件・請願一件でした。

議第四十四号から議第四十七号については、現在、市が直営で管理している出雲市営住宅を、「出雲市行財政改革実施計画」に基づき、平成二十二年四月から、島根県住宅供給公社に管理を委託するものです。

審査の結果、原案のとおり可決すべきと、決定しました。

次に請願第十五号「市道船津所原



請願者から説明を聞く建設水道委員



市道船津所原線（所原町地内）

線所原工区改良促進についての請願」は、全会一致で採択すべきと決定しました。この市道は、佐田地区・乙立地区・稗原地区・上津地区とのアクセス道路として大きな役割を果たす道路となっています。本区間には、幅員が狭あいなうえ、蛇行した線形であり車両の交差も困難なうえ緊急車両の通行や、歩行者の安全を確保するため、改良は必要であると判断しました。

特別委員会報告

予算案件四件を可決・適切な予算の執行を要望

予算特別委員会

本委員会に審査の付託を受けた四件の案件について、各分科会で詳細な審査を行い、委員会を開催し分科会長報告、質疑の後、議案を採決しました。

総括質疑の項目は、障がい者自立支援サービス給付事業、農地有効利用支援整備事業、松くい虫対策事業、造林事業、地域ICT情報通信技術活用推進事業などでした。

各分科会では、一般会計第四回補正予算を審査するなかで、次のような意見がありました。

総務分科会では、特に合併五周年記念式典経費を縮減すべきとの意見がありました。文教厚生分科会では新型インフルエンザワクチン接種助成について、可能な限り対象者を広げるべきとの意見がありました。環境経済分科会では、コンベンション開催に、より一層力を入れるべきとの意見がありました。建設水道分科会では、下水道事業特別会計補正予算・農業漁業集落排水事業補正予算



予算特別委員会総括質疑の様子

についても審査しました。すべての議案について、特別委員会では原案可決と決定しました。また、執行部には、委員からの指摘・要望事項に留意し、適切な予算の執行に当たられるよう要望しました。

請願・陳情の審議結果

【請願】

(継続審査中の請願)

請願番号	件名	提出者	審議結果
9	後期高齢者医療制度をめぐる請願	松江市大正町 島根県社会保障推進協議会 会長 池淵 栄助	継続審査 に 賛成多数

(今回提出されたもの)

請願番号	件名	提出者	審議結果
12	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出することを求める請願	松江市母衣町 島根県弁護士会 会長 大野 敏之	採 択 に 全員賛成
13	県の福祉医療費助成制度の定率（応益）負担を廃止・撤回し定額負担に戻すことを求める意見書採択の請願	松江市大正町 島根県社会保障推進協議会 会長 池淵 栄助	不採択 に 賛成多数
	なぜ不採択	国の福祉政策全体に見直しの動きがあるため情勢を見極める必要があること、また、県財政も厳しい状況にあり、福祉医療費制度の拡充は難しい状況にあると思われるため。	
14	後期高齢者医療制度を廃止し高齢者が安心できる医療制度創設の意見書採択を求める請願	松江市大正町 島根県社会保障推進協議会 会長 池淵 栄助	継続審査 に 賛成多数
15	市道船津所原線所原工区改良促進についての請願	出雲市所原町 市道船津所原線所原工区改良促進期成同盟会 会長 飯塚 清 他7名	採 択 に 全員賛成

【陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
10	公共工事における電気設備工事の分離発注に関する陳情	松江市南田町 社団法人 島根県電気工事業協会 会長 荒木 恭司	採 択 に 全員賛成
11	高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の推進と接種への公費助成を求める陳情	出雲市塩冶町 肺炎球菌ワクチンを広める会 代表 磯部 威 他2名	採 択 に 賛成多数
12	安心安全な保育環境の充実に対する陳情	出雲市上塩冶町 出雲市認可保育所(園)保護者会連合会 会長 大畑 和也	趣旨採択 に 全員賛成
13	『在宅介護支援センター』の存続を求める陳情	出雲市塩冶有原町 社会福祉法人ことぶき福祉会 理事長 槻谷 和夫	不採択 に 賛成多数
	なぜ不採択	在宅介護支援センターは、介護保険法の改正に伴って全国的に廃止が進んでおり、市でも高齢者あんしん支援センターに一本化するための組織・人員体制が整った状況であるため。	
14	平田コミュニティセンターの早期建設に関する陳情	出雲市平田町 平田コミュニティセンター建設期成同盟会 会長 村田 實	趣旨採択 に 賛成多数

意見書の審議結果

意見書番号	件名	審議結果
3	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書	可 決

市政のここが聞きたい 一般質問

12月定例会市議会では、22人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで（◎印のもの）掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

米山広志 議員 (8ページ)

- ・古志採石事業
- ◎出雲ゆうプラザの駐車場用地
- ・出雲エネルギーセンター・ガス化炉

勝部順子 議員 (8ページ)

- ・市民の健康を守るための政策について
- ・子育て支援について（子育て応援特別手当）
- ◎出雲市立総合医療センターの改革について（経営健全化への取り組み）

川上幸博 議員 (9ページ)

- ◎限界集落（基礎的條件の厳しい集落）について
- ・政府の行政刷新会議による事業仕分けによる出雲市への影響

長廻利行 議員 (9ページ)

- ◎大社町青色防犯灯パトロール隊への現金支給問題について

大国陽介 議員 (10ページ)

- ・市長の政治姿勢について
- ◎中小業者の経営支援と仕事確保について
- ・国民健康保険について
- ・市民からの生活相談及び、税や保険料の納付における対応について
- ・市民税の減額・免除の制度について

山根貞守 議員 (10ページ)

- ◎高齢者クラブの活性化対策について
- ・保育園の定数増について

木佐 宏 議員 (10ページ)

- ◎出雲市全域の農地の水害対策の具体的指針を求める
- ・旧平田市地域における公共施設建設に関する提言

杉谷寿之 議員 (11ページ)

- ◎市税の滞納問題について

西村 亮 議員 (11ページ)

- ◎消防団組織の今後について
- ・道路排水路の除草作業について

板垣成二 議員 (12ページ)

- ・自主自立の財政運営について
- ・職員の定員管理について
- ◎防災行政無線整備について

狩野正文 議員 (12ページ)

- ◎出雲のブランド戦略の基本的な考え方について

遠藤力一 議員 (13ページ)

- ◎メディア漬けで壊れる子どもたちについて
- ・学校図書館へ司書の配置を
- ・介護保険制度のさらなる充実を

珍部全吾 議員 (13ページ)

- ◎出雲市合併5周年記念市政功労者表彰式について
- ・国際交流事業について
- ・連続立体交差事業第2期工事について

原 隆利 議員 (13ページ)

- ・自治基本条例について
- ・行財政改革について
- ◎トキ分散飼育について

高野成俊 議員 (14ページ)

- ・幼稚園と保育園の一元化問題について
- ◎斐川町との合併問題について
- ・住宅政策について

板倉明弘 議員 (14ページ)

- ・出雲市駅付近連続立体交差事業第二期工事について
- ◎市内小中学校のプール施設の改修方針について
- ・乳児と保護者を学校に招いて交流する「赤ちゃん登校日」授業について

萬代弘美 議員 (15ページ)

- ◎防犯灯、街路灯の思い切った増設で安心・安全な街づくりを
- ・福祉医療制度について
- ・後期高齢者医療制度について
- ・市民が利用しやすい公共施設の整備と管理運営について

板倉一郎 議員 (15ページ)

- ・地域主権に対応した職員のあり方について
- ◎新型インフルエンザへの対応について

小村吉一 議員 (16ページ)

- ◎高齢者が輝きながら生きる施策について
- －「福祉バス」などを中心に－
- ・鹿被害の早期解消と「鹿と人との共生」について

多々納剛人 議員 (16ページ)

- ◎出雲市の財政状況と予算について
- ・斐川町との合併について
- ・ブランド化の推進について

曾田盛雄 議員 (17ページ)

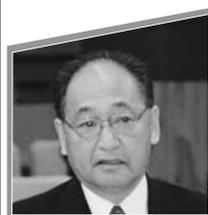
- ◎出雲市農業の将来は
- ・経済活性化と雇用促進策を

直良昌幸 議員 (17ページ)

- ・財政の健全化について
- ◎出雲市の指定管理者制度について

米山 広志

出雲ゆうプラザ駐車場の不適切な使用



問

出雲市西新町の出雲ゆうプラザ駐車場について伺う。

- ①駐車場の賃貸契約はいつから行われているのか。
- ②その借地料はいくらか。
- ③駐車場を第三者に貸した事実があるか。

健康福祉部長

①平成十年ゆうプラザ開設に伴い、夏の繁忙期に対応するため民有地を借用しています。平成十八年度までは無償で借り受けていましたが、土地所有者からの申し出があり、十九年度からは土地賃貸契約を結び、有償で借り受けています。

問

地域の行事以外に貸し出した例はなかったか。

健康福祉部長

農業用機械の展示場として本年十一月に、無償で貸した例がありました。

市長

実態を確認したうえで適切な対応をしていきたいと思えます。

勝部 順子

民間の力を導入し、一層の病院改革を



問

三浦市では、事務長の公募で、元銀行マンの方が着任され、病院改革に取り組み成果が出ている。経費削減のために、「SPDシステム」「VPP契約」の導入。三百万円以上の医療機器の購入は、選定委員会で購入の是非を決定するなどできるだけ資産を持たず、リースを念頭に実施されている。また、地方公営企業法全部適用による医療職給与の適正化や国家公務員の給料表の見直しに合わせ、給与の削減、手当での廃止などの見直しが行われている。民間・自治体病院の現場を見てこられた事務長は「民間、自治体病院を比べて驚くことばかり。改革に必要なのは、人材である。公務員ではなかなか改革は進まない。意識と体制を変えなければ改革はできない」と断言されている。事務長を民間から公募をして、徹底した改革を要望する。

市長

三浦病院の改革の何点かは、総合医療センターでも実施しています。いずれにしても、医療スタッフ、事務職員も含めての意識改革、これが経営改善健全化への大きなカギを握る要素だと考えています。事務職員



建設が進む総合医療センター新館

SPDシステムとは

医薬品、診療材料その他の物品購入に係る購入、在庫管理、回収搬送等の業務を一元化した包括的な管理業務を外部業者に委託する方法のことです。

VPP契約とは

医療機器の使用料を診療に利用した回数に応じて支払う、「症例単価払い」という契約のことです。

の登用については、民間のノウハウ、考え方、手法などを病院経営に活かしていく視点は必要だと考えています。今後の運営形態のあり方も

含めて、検討してまいります。当面、民間からの公募などについては、予定していません。

川上幸博

「限界集落」に向かわない 行政の取り組みは、何か



問 出雲市も全国と同様に、少子高齢化が進んでいる。地方の中山間地や海岸部では、特に高齢化が進み冠婚葬祭や道路維持、排水路掃除などの社会的共同生活が困難になる地域が増えてくると予測される。増加させないための予防行政が必要と考えるが、施策を伺う。

市長

人が暮らしやすい環境の整備を目指し、若者やU・イターン者のための空き家を活用した定住対策や生活基盤整備など各種の整備を進め定住対策に努めています。また、集落の高齢化に伴い住民の負担軽減をするために、さまざまな支援を行っています。九月から現状把握のために、限界集落や準限界集落などに対してアンケートを実施し、道路側溝の泥上げ、草刈、除雪などの作業が困難、祭りやイベント運営が困難、交通手段の確保が困難などの回答がありました。これらの回答を踏まえ、出雲市に

合った集落支援員制度や集落応援隊の導入を検討して、来年度から試行的に、いくつかの集落に配置を行います。応援隊については、集落の希望もあるので、調整を行いモデル的に実施したいと考えています。

限界集落とは

大野晃長野大学教授（高知大学名誉教授）が提唱した概念で、過疎などによって、65歳以上の高齢者の割合が50パーセントを超えるようになった集落で、冠婚葬祭や農作業における互助など、社会的な共同作業が困難になった共同体のことです。

国土交通省の「国土形成計画策定のための集落の状況に関する現況把握調査」によると平成18年4月時点で全国に7,878集落あるとされています。

長廻利行

大社町青パト隊への 公金支給問題



問 本年九・十月にかけて、大社町青パト隊全員に対し、一人当たり一万五千元が支給された。この原資は、昨年この隊の活動五周年記念事業の名目で、市から七十八万円の助成を受けた中から支出されたことが判明した。そこで市は目的外支出の可能性があるとして、調査を実施された。私は、この支出目的よりも、記念事業が都合により中止されたにもかかわらず、この助成金が一年間も放置されていたことが問題だと思ふ。また今回の支出は組織決定されたものでなく、町内会連合会長と青パト隊長の二人で、決定・実施されたと聞いている。助成金を支出した市として、どのような指導助言をされたのか伺う。

なるものでなかったことから、補助金を返還させるまでのことではなかったと判断したということでは、この団体につきましては、先般改善の勧告をいたしました。具体的な改善策を提示していただいたところ。さらなる指導・監督を行いたいと思っております。

市長

会からの決算書では青パト隊活動助成として、一括七十八万円を支出したとの報告がありました。会の監査委員の監査を受けた報告として、適正であったと認識した次第です。また、一年間現金での保管につきましては、議員ご指摘のとおり、不適切なことと言わざるを得ません。ただ、使途について明らかに目的と異



青色パトロール車（大社町）

大國陽介

中小業者支援の抜本的強化を



問 不況のもと、中小業者の経営は一層深刻である。現状認識および市民の負担軽減、中小業者の仕事確保など、苦難解決に向けての決意を伺う。

市長

厳しい財政状況ではありますが、地域経済や雇用への対策など、緊急な案件については、しっかりと対応します。また、行政サービスが低下しないよう、いかなる状況であつても市民の生活や福祉の向上に向けて努力していきます。

問 県が設けている企業立地促進助成金など、現在の優遇制度は、規模の大きな企業や一定規模以上のIT企業向けの制度であり、中小業

者は対象とならない。今こそ、大企業呼び込み型の優遇策ではなく、中小業者の事業拡張や雇用拡大などへの支援を抜本的に強化することを求めるが、いかがか。

産業観光部長

県の助成制度は、投下資本の額と新規雇用の数に関して要件を満たした企業に助成するもので、中小業者でも要件を満たせば対象になります。現在の制度が必ずしも十分だとは考えていません。今の経済状況、企業誘致や事業の拡張の促進という観点からすれば、対象業種の拡大や要件の緩和を進めていただきたいと考えていますので、県に対しても要望をしていきます。

山根貞守

高齢者クラブの

活性化対策を問う



問 高齢化が急速に進む中で、年々高齢者夫婦世帯や独居老人世帯が増えているにもかかわらず、全国的にも高齢者クラブの数や会員数が

減ってきており、活動の衰退が大変心配される。こうした中で市は合併当初から五年間、高齢者クラブ連合会と、それぞれの単位クラブへ毎年

同じ金額が補助金として支援がされている。こうした定額的な支援ではなく、もっと柔軟な取り組みがしていただけるような、交付金制度などにして思い切った支援をしたらどうか。

健康福祉部長

高齢者クラブへの支援を増額したらという指摘については、現下の厳しい財政状況も踏まえないければなりません。高齢者クラブの加入率や活動状況なども十分勘案し、今後の活動補助金のあり方について検討していきたいと考えています。

問 市内二百二十三の単位クラブで

素晴らしい取り組みをされているクラブがたくさんあり、こうした取り組み情報を他のクラブに、積極的に提供すべきではないのか。

木佐 宏

国富川の治水対策



問 出雲市全域の農地の水害対策、具体的な対策について、お尋ねする。過去、平田圏域では国富川流域の美談から国富下地区において、ビニールハウスへの冠水被害を幾度も経験し、昭和六十二年国富川拡幅改良事業促進期成同盟会が発足、それ以降、陳情が繰り返されたが、未だに成就していない。

本年も、一部とはいえハウス内への浸水により耕作物と農機具の水没騒動が発生し、関係者は狼ばい状況に陥ったと聞いている。速やかにエリア該当農家の生の声を聴取され、可及的速やかに適切、妥当な施策指針を建てられたい。
当該河川は施行から五十五年が経過、経年経過もさることながら、資



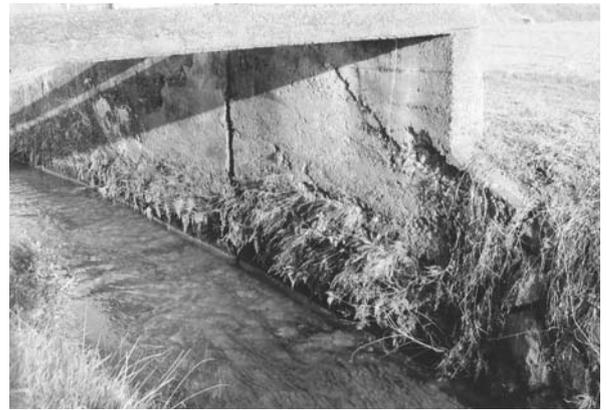
高齢者による清掃活動状況

健康福祉部長
非常に積極的に取り組まれているクラブがあります。今後、市と社会福祉協議会で研修や情報交換を積極的に行ってまいります。

材の横流しで粗悪な工事が行われており、管理道路も農業資材、農産物の搬入搬出時、路肩崩落の危険があり猶予はできない。必須課題である。それ以上放置せず十分な現地把握・検証、適切な対処を求める。

建設事業部長

農地が冠水する場所は、国富川上流域も含まれ、ご指摘の通り、農業排水や、旅伏山南斜面をエリアとする山地の雨水などが流れ込み、農地の冠水や、過去には家屋の一部が浸水した状況にある川と承知しています。改めて、現地の状況を確認し、当該地域で農業を営まれている方々から直接お話しを聞き、対応について検討してまいります。



55年が経過し、崩落が心配される国富川の構造物

杉谷寿之
十六億五千万円、
市税滞納をどうする



問 平成二十年度決算において、一般会計、特別会計で十六億五千万円の税の未回収が明らかになり、不納欠損(回収をあきらめた税金)額が三億一千万円となっている。一所懸命に納税していただいている市民に対し、税の公正を期すためにもきちんと対応されたい。九月の決算委員会でも、この滞納対策が審査され、具体的な方策を早急にたてるよう執行部に迫っている。従来の、マ

ンネリ化した徴収方法を抜本的に改革し、外部からの人材を登用するなど、来年度に向けて具体的な戦略を示されたい。

財政部長

指摘の通り巨額な滞納が発生しており市政運営上、大きな障害となっています。金融危機に始まる世界不況が、本市内外の経済活動に暗い影を落している中、滞納対策として、文書や電話での督促をはじめ、訪問

催促、財産差し押さえも強化しています。財産の差し押さえについては平成二十年度は前年度対比約一・八倍の五百五十九件になっています。職員の研修や対応人員を増やし、体制を強化しています。

市長

滞納の状況は市財政の中でこれ以上見過すわけにはいきません。従来の発想では、それに対応するのは無理で諸々の提案のあった中で実現可能なものを検討し、新年度において期待にこたえるよう努力します。

西村 亮

消防団組織の見直しを問う



問 消防団組織の重要性は周知の事実であり、安心・安全な地域社会構築のため必要不可欠であり、あらゆる見地から検証が必要である。

特に、団員確保の観点から福利厚生などの待遇改善、施設資器材の拡充が肝要と考える。

現在、消防団再編計画を検討中であるが、団員確保・安全対策・緊急体制など再編計画を伺う。

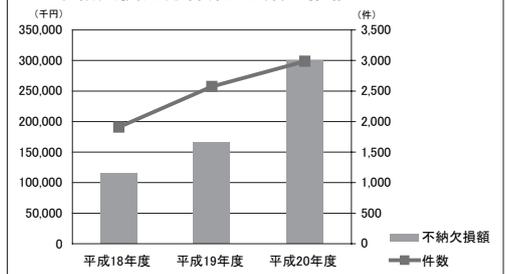
消防長

消防団再編計画検討の背景には、少子化が進み、団員の対象年齢層が激減しており団員確保が困難になってくること、またサラリーマン化が



消防団の夏季訓練 (平田地域)

不納欠損処分件数・金額の推移



普通税(市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、法人市民税)及び国民健康保険料(税)についての、不納欠損処分件数・金額の推移です。

進み、昼間の参集率が低下していくため、強力な部隊としていくため組織体制の平準化を図る必要があります。団本部として素案を作成中で、管轄面積・人口・地形・水防・常備消防などの距離を勘案、部を十八部、団員百二十名程度削減し、さらに女性団員、機能別団員創設を検討しています。安全対策については、活動服・手袋・安全靴・ヘッドライトなどの要望はありますが、逐次整備します。まず機動化、平田消防署の整備などいづれも急ぐものですが、財政

板垣成二

防災行政無線戸別受信機の
全世帯普及を



問 防災行政無線は、まず佐田、多伎、湖陵、出雲地域南部を整備することになっている。しかし、戸別受信機は自己負担があるとの方針に対し、佐田・多伎・湖陵の住民代表から行政の責任で個人負担がないようにとの要望が出された。市長の見解を伺う。また、地域経済活性化のため、戸別受信機を地元発注してはどうか。

総務部長

将来的に市内全域への防災行政無線を考慮する必要があり、住民の皆さまに経費の一部をご負担いただくこととしています。しかし、戸別受

状況を勘案し優先するものから年次的に対応していきます。諸手当・福利厚生など、当分は継続していきます。
問 消防協力組織の活動助成金の対象経費除外について通達があった。一隊三万円の助成金を削減するのは酷であり、むしろ増額すべきと思うが所見は。
消防長 助成金の使途について監査委員から指摘され通達しましたが、使途に合ったものであれば削減はありません。



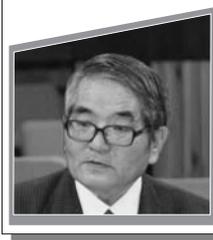
防災行政無線の屋外スピーカーと戸別受信機

信機が安価になるよう努力し、生活保護世帯などへの配慮もあわせ、負担が過大にならないようにします。また、地元発注に前向きに取り組んでまいります。

問 自己負担がある他の自治体では、普及が一〇〇%になっていない。また、消防庁の調査で、屋外スピーカーだけでは災害の際、役に

狩野正文

出雲のブランド戦略は



問 川面がキラキラと輝き、悠久のときを超えて流れている斐伊川。そして、そこから引き込まれている清らかな用水、青々とした水田、あるいは手入れの行き届いた果樹園、そこで営農している人々の集落や個人の住宅などの地域財産を発掘し紹介していけば、この出雲の農産物は安全でしかも良品であると人々に連想させるであろうと考えている。「出雲のブランド戦略」とは、このように一品、一品の産物のブランド化というよりその生産地のブランド化と考えるべきなのか、基本的な考えを伺う。

市長

具体的な提案を交えての質問であります。ほぼ私の提唱する出雲ブランド戦略と合致しています。この

立たないことが分かった。全世帯に戸別受信機を普及するようにすべきだ。

市長 幾ばくかのご負担を考えていますが、できるだけ負担にならないように配慮する方向でさらに検討します。

地域に住む市民の一人ひとりが地域に愛着、誇りをもつことが出雲のブランド化への取り組みの前提になります。また、ブランド化は、個々の



清らかな用水「来原岩樋」

資源を単発的にアピールするものではなく地域全体、その地域がもつ歴史的なものを含めて、背景の部分をきちんとおさえ、出雲ならではの歴史、文化、自然などをトータルない

メージ戦略をもってアピールをしていく運動と考えています。なお策定に際しては市民の皆さんの参画を考えています。

遠藤力一

メディア漬けで壊れる 子どもたちへの対策は



問 テレビゲーム、ケータイなど、電子映像メディアが登場するた

びに、子どもたちのメディア接触の早期化、長時間化に拍車がかかり、子どもたちの健やかな成長を阻害している。平成二十年は、小中学校での暴力行為件数が、過去最多だった。子どもとメディア問題への取り組みは避けて通れない重要な課題と考える。メディア接触が、子どもたちの生活を脅かしていることを、すべての子を持つ親に、周知すること。メディアを上手に利用するルールを市全体でつくること。ノー電子メディアデーをつくることを提案する。そこで教育長の認識を伺う。

① 家族のつながりと変化について
② 児童生徒の変化と問題行動について

教育長

全国的にもいろいろな問題がメディアにかかわって報道されています。出雲も、無縁でなく、委員会と

しても大きな課題ととらえ、日頃から取り組んでいます。家族が同じ時間、同じ空間を共有することが少なくなり、団らんが失われ、親子のつながりが希薄になりつつあります。本市でも、情緒面に課題を抱える子どもたちの増加、不登校、いじめ、問題行動の発生といったさまざまな形で表面化しています。



電子映像メディアの携帯電話

珍部全吾

機械的自治功労者表彰は問題



問 本年度三月、合併五周年を記念して、出雲市表彰条例に基づ

き、政治、経済、福祉、教育、文化など各般にわたり本市の発展と、市民福祉の増進に功績のあった方々を表彰する議案の提出があった。三点について伺う。

- ① 五周年に表彰は時期尚早に思えるが、その目的は。
- ② 自治功労表彰は市長四年、議員八年、特別職十二年と定められている。この方々は、有償で職を勤められており、また一律に年数さえ経てば表彰するというのは、いかがなものか。
- ③ 式典経費として七百五十万円の計上も現在の経済状況からして納得い

総合政策部長

旧出雲市時代の前は千五百万円余りの経費をかけ、前夜祭まで行った経緯があります。その点では今回は節約しているように思います。条例に基づき粛々と行いたいと思います。



新出雲市発足1周年記念式典の様子
(平成18年3月)

原 隆利

トキ分散飼育の課題



問 トキ分散飼育の課題点について伺う。①その後、県・国の分散

飼育に対する支援内容に変化があったか。②鳥インフルエンザに対する対応策は。③飼育センターの概要は。④放鳥の可能性は。

たか。②鳥インフルエンザに対する対応策は。③飼育センターの概要は。④放鳥の可能性は。

産業観光部長

①県・国の支援については、県に対して要望を引き続き行っているところですが。国の支援はこれまでの経過から難しいと思われます。新たに広く企業などからの支援を募る制度の創設を検討しているところです。

②鳥インフルエンザの予防策として、靴の消毒、履き替え、施設周辺への消石灰の散布などが基本となります。これらの費用は年間十数万円程度となる見込みです。インフルエンザ蔓延の危険が迫った場合は、外部と遮断した屋内予備ゲージに隔離することとしています。③飼育センターの概要は保護増殖事業を主目的とします。なお、飼育センターとは別に学習コーナーを整備して、飼育センター内のトキの様子が観察できるようにモニターを設置する考えです。学習用の解説パネルなどを展示



漢中市で飼育中のトキ

して、広く環境教育に活用することとしています。④分散飼育地におけるトキは非公開であり、放鳥は佐渡市において行うこととされています。

高野成俊

斐川町との合併問題を問う



問 二〇〇四年に斐川町が合併協議を離脱されて現在に至っている。二つの自治体が合併するのには、法定協議会の前に任意協議会を設置する必要があると思われる。現在の斐川町の状況を聞く、編入合併が前提で、なかなか将

来のビジョンが見えてこない中、町民的な議論が深まっていないということであり、過去に協議してきたはいえ、景気も低迷しており当時とは時代背景も変わってきている。独立したそれぞれの自治体として改めて合併の協議を任意協議会において

将来のビジョンを示せば、住民投票で決する機会にもつながるのではないかと考えている。市長の考えを伺う。

市長

今回は任意協議会から法定協議会という手順は踏む必要はないという判断をしました。かつての二市四町のときの合併と違って、新しく描く新市の中にバラ色の夢を盛り込むような話はそうありません。要は、合併後の斐川町がどうなるかというところが焦点になるだろうと思っています。そのことについては、やはり法定協議会の正式な協議のテーブルの中できちんと話をすべきであって、事前にいくら時間をとって協議をしても、今回のケースについては、あまり意味はないと思っています。正式な協議のテーブルの中でいろいろ話を詰めていきたいと考えているところです。



天王山から望む斐川平野

板倉明弘

「古い小中学校プール施設改修方針」の見直しを



問 市内の小中学校プール施設の、三十年以上経過している学校は十六校もある。新しく改築されたプールと比べ、その施設環境はあまりにも大きな格差がある。児童生徒の教育環境は平等にすべきとの観

点から随時改築するのが望ましいことだが、夏場の一時期しか使用しないプールは、毎年の維持管理など多額の費用がかかる。厳しい市の財政面からも考えると根本的な改修方針の見直しを考える時期ではないか。

今後、古いプールの改築は中止し、水泳授業は、民間プールを活用したり、年中使用できる屋内プールを一つ新設し、バス送迎で対応する方法などを調査研究してはどうか。

吉田教育次長

今後のプール改築は、当面見合わせ既設のプールを修繕しながら利用する計画となっています。

民間プールを利用する水泳授業は、すでに、平田地区の五校の小中学校で行っています。一万五千円の占用使用料、児童生徒一人あたり二百五十円の利用料、バス送迎費など全額市が負担しています。今後、既設プールの修繕費、維持費との比較や授業時数の調整など総合的に検討します。



大津小学校プール（昭和46年建設）

また、各校が共同利用するプール建設は、厳しい財政状況から困難です。

萬代弘美
**防犯灯、街路灯の思い切った増設で
安心・安全なまちづくりを**



問 浜田市で起きた痛ましい事件を受け、防犯灯の増設など夜間の安全対策を求めます。

出雲市防犯灯設置要綱では、小中学校の通学路で周辺百メートル以内照明設備がないところに市が設置するものと、設置費用の二分の一と電気代など維持管理費を町内会が負担するものがある。

防犯灯設置要綱を見直し、通学路

の設置基準の緩和や町内会の維持管理費負担の軽減。小・中・高校の通学路の点検を行い、防犯灯の設置など安全対策の実施。県立大学短期大学部、島根大学医学部の周辺地域の総点検と安全対策などの実施を求めます。

地域振興部長

本年の防犯灯設置申請件数および設置予定数は、学校からの申請件数

が九十四件で、その内二十五件程度を設置します。町内会などへの補助は、申請件数百八十七件に対し、百六十九件を交付決定しています。要綱の見直しは考えていません。通学路の防犯灯設置箇所の選定は、小中学校に依頼をしています。

今回の事件を受け、必要性の高い場所には対応します。県立大学短期大学部、島根大学医学部周辺の安全対策は、出雲警察署のパトロールの強化などとともに、市としても周辺の防犯灯の設置状況の調査など、関係機関と連携を図って防犯対策を講じます。



緊急対策として防犯灯が増設される予定の島根大学医学部周辺地

板倉一郎
**新型インフルエンザの
集団予防接種を求めます**



問 次の点について伺う。

① 新型インフルエンザの優先接種者の人数 ② 現在実施されている予防接種事業で問題は発生しているか ③ 接種を希望する方については、予約窓口を一本化し、公的な場所での集団接種を行い、健全な病院機能を確保するため、速やかな対応を求めます。

健康福祉部長

① 優先接種者は約七万三千人と推計しています。



インフルエンザ予防接種

②市内においては、接種希望者に対して、ワクチンの供給量が少なく、医療機関へ予約しても、いつ接種できるかわからない状態であり、各医療機関では、ワクチン接種の電話対応に追われていると聞いています。しかし、十二月中旬以降は、問題は解消されると考えています。

③公的な場所の集団接種の取り組みが不可能というわけではないですが、そのようなことをしないと

ない状況とは、聞いておりません。

問 接種希望者が増えていく中で、これから問題が発生することが予測される。再度、集団接種を検討する考えがないか伺う。

市長 関係者の皆さま方と協議した上で、その方が、より効率的で現実的だということになれば、柔軟に対応していきます。

小村吉一

高齢者が輝きながら生きるために「お茶の間バス」などの存続を



問 「光り輝きながら生きたい。介護保険や健康保険などには、できるだけだけお世話にならないで生きたい。」

これは、高齢者共通の思いである。元気なお年寄りへの施策の基本と重点を伺う。

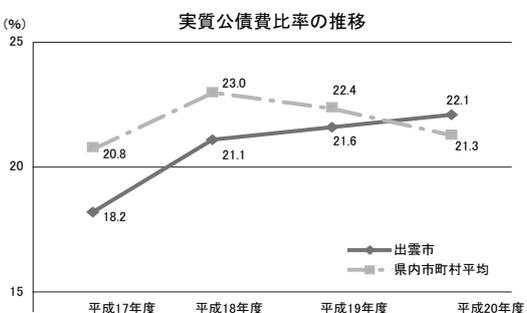
健康福祉部長

「高齢者が共に生き、共に支え合う社会の実現」を基本としながら、重点施策として地域密着型サービスなどの介護基盤の整備、介護予防、認知症高齢者への支援強化などの事業を行っています。

問 現在、平田地域では、「お茶の間バス」と「福祉バス」の運行がされている。バスは、集会所などの



お茶の間バス（平田地域）



実質公債費比率とは、借入金(地方債)の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。25%以上の団体については、一定の地方債の起債が制限されるとともに、「財政健全化計画」の策定が義務付けられます。総務省の平成20年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率の概要(速報)では、都道府県の平均値は12.8%、市区町村は11.8%となっています。

問 中期財政計画の中間報告にある危機的な財政状況とは、率直にどのような状況なのか伺う。

市長 現時点での財政見通しは平成二十二年以降八億円を上回る収支不足が

多々納剛人

出雲市の財政状況と予算について



固定型の交流施設と異なり、移動型の交流施設となり心のリフレッシュなど老化予防の観点からも利点が多く、市民の存続の声も大きい。しかし、バスの老朽化にともない存続が危ぶまれている。是非、存続を。また、全市的な施策にも広げるべきと考えが見解を伺う。

健康福祉部長

元気な高齢者への施策の重視は重要な視点だと考えます。老化予防という点で、他地域へ出かける意義も大きいとおもいますが、今、市として何に予算を投すべきか、市民の声を聞きながら慎重に検討したいと考えています。

見込まれる他、平成二十四年度には財調、減債などの基金が底をついてしまう状況にあります。合併以来特別に加算されている交付税が将来三十数億円減額になる時期が必ず来る事は明白であり、その時点において、住民への基礎的サービスが今ままでおろけるのかどうか懸念される状況です。

家計に例えれば、ローン返済の割合が非常に高い状況であり、今後家計でいう給料が下がるとローンの返済ができなくなるか、もしくはこれ以上新たな借金を増やす事が不可能な状態です。今後は、財政の健全化に向けた安心のできる財政運営を進めてまいります。

問 公共事業の依存が高い出雲市においては、起債発行の大幅な抑制は市内経済へ大きな影響を及ぼす事

が懸念されるが、今後の投資的経費の考え方について伺う。

この不況下にあつて新規事業などをすべてストップすれば大変な影響

曾田盛雄

出雲市農業の将来は



が出ると予想されます。地域経済の衰退を招くような事業の縮小は回避しなければなりません。財政運営の健全化に努める上では効率よく厳選し、選択的に事業を実施していきます。

①先の国政選挙によって三党連立による鳩山内閣が誕生した。

②政府の行政刷新会議の「事業仕分け」によって農林水産省関係予算は、特に厳しかった。評決結果についての認識と対応は。

③本市の基幹産業である農業関係予算の大幅削減は、関係者にとって死活問題ではないか。

④本市の基幹産業である農業関係予算の大幅削減は、関係者にとって死活問題ではないか。

河内副市長

国の政権交代による影響は、現時点では推し量ることはできませんが、現段階では本市にとつても相当影響が出てくると考えます。

本市に直接影響があるものとして、耕作放棄地対策、農地利用集積、農用地有効利用生産向上対策、森林整備地域活動支援交付金、農道



整備が進む美談地区経営体育成基盤整備事業

整備事業、里山事業による鳥獣対策、農業農村整備などが挙げられます。農政の大転換を迎えるにあたり、これまでの農家の取り組みが無にならないよう、また集落営農組織など、これまで培ってきた農村社会や農家間の協力体制が崩れることのないよう、制度構築にあたっては国をはじめとして県、関係方面に対して強力に働きかけてまいります。

直良昌幸

指定管理施設の外部委託の現況は



指定管理者制度による、施設の外部委託が進められているが、委託先の選定と管理運営が公正で透明であるかどうか。公共性を確保するために情報交換と公開を。利用者に提供するサービスの向上と、また、行政と利用者の安全、安心を担保するために年一回程度の合同の研修、交流会を開催すべきと考えるが。

黒目副市長

指定管理者制度は、従来、行政が担っていた施設の管理と運営を民間に委託し、利用者の利便性の向上と市の経費削減を図ることを目指すものです。

平成十八年度から、この制度を導入し、現在九十三の施設を外部に委託しています。出雲ドーム、マリントラソ出雲などのスポーツ・レクリエーション施設が三十八、市民会館などの文化施設が十七施設、社会福祉施設が二十一施設、基盤施設が十四施設、いちじくの里などの産業振興施設が三施設となつています。二十年度までの三カ年

で、一億一千万円の経費の縮減となっております。指定管理者の選考は、選定委員会でも慎重に審査を実施し、議会にもお諮りして決定していきます。管理運営につきましても、個別に適正に指導をし、情報も公開していきます。ご提案の、一堂に会しての交流、研修会の開催については今後、検討をいたします。



いちじくの里 いちじく館 (多伎町)

視察報告



斐伊川・神戸川治水対策特別委員会 河川敷の利用を考える

十月十七日～十月十九日



斐伊川・神戸川治水事業は、昭和五十七年九月議会にて市議会が同意をした経緯があります。当時、県知事に対し六項目の同意条件を付けてあります。その中の一つで大橋川拡幅工事と中流の放水路の同時完成が現在議論されています。

そして今一つは、新神戸川の河川敷の利用方法についてです。今回の視察の目的は、この問題についてであり、静岡市の阿倍川、兵庫県に加古川・武庫川の三河川を視察しました。

阿倍川は、静岡市内を流れており地元関係者の熱心な協力もあり、地元で造った河川敷内の親水公園は特に夏には数万人の利用があり皆さんに愛されております。加古川・武庫川は共に河川敷を利用したジョギングコースです。加古川は、河川敷を利用し公認のフルマラソンコースで武庫

川は真砂土で造ったコースでした。出雲市においても同様な計画があり、河川とも、将来の利用について大変良い参考になりました。

(珍部全吾 記)



地元で造った「うずしま水辺の楽校」(静岡市阿倍川)

観光産業振興特別委員会 古くからの自然や、文化遺産を活かした取り組みを学ぶ

十一月四日～十一月六日



観光産業を学ぶために、三市一村を視察しました。各市村とも古くからの自然や文化遺産を活かした観光施策に、住民とともに積極的に取り組みされていました。

富山県高岡市では、国宝瑞龍寺など多くの文化遺産を活かした観光、自然景観や、祭り・イベントなど「高岡ブランド」の活用など多くの施策に取り組みられています。特に「たかおか観光戦略ネットワーク」の取り組みは、参考にできると感じました。これは、市から報酬など出さず、公募による委員も含め、ボラ

ンティアの方々活躍されています。

岐阜県白川村は、世界遺産に登録され大変賑わいで、平日なのに多くの観光客、特に外国からのお客様が多く驚きました。今後の課題として、村内に宿泊施設が少なく、せっかくの観光客の滞留時間が短く、この対策が急がれると伺いました。

岐阜県高岡市では、外国観光客誘客のために、外国特にアジア地域に出かけて誘客に力を入れておられます。出雲市でも学ぶべき事と感じました。

(勝部順子 記)



外国観光客誘客について説明を受ける(高山市)



高山の町並み保存地区

文教厚生委員会 十一月十日～十一月十二日 充実した子育て支援の取り組み



長野県佐久市では、子育て支援総合推進モデル市として、すべての小学校区に、子育て支援の核として「児童館」が整備されていました。地域と一体となったこの「児童館」にさまざまな事業を取り込み（就学前の児童と保護者を対象に「児童館午前中開放」や「子育てサロン」、「家庭児童相談」など）まさに子育て支援の拠点として明確に位置づけられ、利用者にとって分かりやすく、また施設も無駄なく利用されていました。子育て支援メニューの一覧表も、キヤッチコピーに優れ、とても見やすい・分かりやすいものになっていました。



佐久市の「児童館」

この一覧表の整理の仕方、表示方法などは担当当局でも参考にしてほしいと思います。

また東京都武蔵野市では、児童虐待の対応の強化などから条例を制定し、「子育てSOS支援」を積極的に行っていました。

「児童館」が整備されていました。自治会組織もなかで、いかに実効性の伴う支援体制を整備していくかが鍵になると思います。（飯塚俊之 記）

建設水道委員会 十一月十八日～十一月二十日 橋梁の長寿命化対策の調査



橋梁の修繕について説明を受ける建設水道委員（横浜市）

全国的にも橋梁は、概ね、設置後三十年から五十年が経過し、老朽化と耐震構造の面からも早急な対応が求められています。こうした現況から、橋梁の長寿命化に先進的に取り組まれている、横浜市に視察研修を行いました。

横浜市では、市管理橋梁が千七百六橋あり、この長寿命化対策として平成十五年度に「橋梁長期保全更新検討委員会」を立ち上げ、平成十九年度に橋梁管理システムを構築し、修繕計画を立て、平成二十年度に六橋・平成二十一年度には、五橋が対応されていました。緊急優先度別にランク分けがされ、計画的に事業展開がされていました。工事が進行する二カ所の現地視察による説明を受け、研修を行いました。

出雲市においても、市管理橋は千八百二十二橋もあり、その大半が設置後四十年から五十年が経過した橋梁です。今後、事故や大規模修繕などが起きない前に、低コストで対応ができる長寿命化対策の取組計画を早急に樹立すべきであると痛感いたしました。

（山根貞守 記）

議番	案号	飯塚俊之	板垣成二	狩野正文	木佐宏	西村亮	小村吉一	大國陽介	松村豪人	遠藤力一	山根貞守	萬代輝正	板倉一郎	多々納剛人	川上幸博	曾田盛雄	福代秀洋	高野成俊	広戸恭一	直良昌幸	坂根守	板倉明弘	萬代弘美	勝部順子	米山広志	宮本享	原隆利	多久和康司	荒木孝	長廻利行	古福康雅	珍部全吾	杉谷寿之	寺田昌弘	山代裕始				
議第37号		○	○	○	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第38号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第39号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第40号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第41号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第42号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第43号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第44号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第45号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第46号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第47号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第48号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第49号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第50号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第51号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第52号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第53号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第54号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第55号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第56号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第57号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第58号		全員異議なし																																					
議第59号		全員異議なし																																					
議第60号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第61号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第62号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第63号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮第7号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第9号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第12号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第13号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第14号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第15号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第10号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第11号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第12号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第13号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第14号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第3号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長

○＝賛成、●＝反対、－＝棄権、除斥＝議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することとなっています。

採決の結果

議案番号	議案名	審議結果	賛成	反対
平成21年度(2009)第4回定例会				
議第37号	平成21年度(2009)出雲市一般会計第4回補正予算	可決	24	9
議第38号	平成21年度(2009)出雲市国民健康保険事業特別会計第2回補正予算	可決	33	0
議第39号	平成21年度(2009)出雲市下水道事業特別会計第1回補正予算	可決	33	0
議第40号	平成21年度(2009)出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計第1回補正予算	可決	33	0
議第41号	平成21年度(2009)出雲市病院事業会計第1回補正予算	可決	33	0
議第42号	出雲市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	28	5
議第43号	出雲市立保育所設置条例の一部を改正する条例	可決	30	3
議第44号	出雲市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	30	3
議第45号	出雲市山村住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	30	3
議第46号	出雲市特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	30	3
議第47号	出雲市小集落改良住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	30	3
議第48号	出雲市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決	33	0
議第49号	出雲市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決	33	0
議第50号	財産の無償譲渡について(出雲市立大社保育所)	可決	30	3
議第51号	公の施設の指定管理者の指定について(出雲ゆうプラザ)	可決	29	4
議第52号	出雲市土地開発公社の定款の変更について[除斥議員6名]	可決	25	0
議第53号	工事請負契約の締結について(出雲市トキ分散飼育センター(仮称)建築工事)[除斥議員1名]	可決	26	6
議第54号	新たに生じた土地の確認について	可決	33	0
議第55号	町及び字の区域の変更について	可決	33	0
議第56号	市道路線の廃止について	可決	33	0
議第57号	市道路線の認定について	可決	33	0
議第58号	平成21年度(2009)出雲市一般会計第5回補正予算	議案撤回		簡易採決
議第59号	出雲市・斐川町合併協議会の設置について	議案撤回		簡易採決
議第60号	備品の取得について(小学校児童用コンピュータ機器)	可決	33	0
議第61号	備品の取得について(小学校教員用コンピュータ機器)	可決	33	0
議第62号	備品の取得について(中学校生徒用コンピュータ機器)	可決	33	0
議第63号	備品の取得について(中学校教員用コンピュータ機器)	可決	33	0
諮第7号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて(齊藤雅信氏)	同意	33	0
請願第9号	後期高齢者医療制度をめぐる請願	継続審査	29	4
請願第12号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出することを求める請願	採択	33	0
請願第13号	県の福祉医療費助成制度の定率(応益)負担を廃止・撤回し定額負担に戻すことを求める意見書採択の請願	不採択	29	4
請願第14号	後期高齢者医療制度を廃止し高齢者が安心できる医療制度創設の意見書採択を求める請願	継続審査	29	4
請願第15号	市道船津所原線所原工区改良促進についての請願	採択	33	0
陳情第10号	公共工事における電気設備工事の分離発注に関する陳情	採択	33	0
陳情第11号	高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の推進と接種への公費助成を求める陳情	採択	32	1
陳情第12号	安心安全な保育環境の充実に対する陳情	趣旨採択	33	0
陳情第13号	『在宅介護支援センター』の存続を求める陳情	不採択	29	4
陳情第14号	平田コミュニティセンターの早期建設に関する陳情	趣旨採択	32	1
意見書第3号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書	可決	33	0

議員紹介最終回



よねやま ひろし
米山 広志

二〇〇九年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」が「新」に決まりました。

米国ではオバマ大統領就任。米大リーグのイチロー選手が九年連続二〇〇本安打の新記録。

日本では政権交代で鳩山新内閣が誕生。新型インフルエンザの感染拡大。

出雲市では長岡新市長の誕生。

長引く不況と深刻な雇用問題など社会的不安が広がっています。

この様な時こそ誤りのない判断が必要です。

人と地域との「絆」を大切に「公平で公正な社会」実現に向けて精一杯頑張ります。



やましる ひろし
山代 裕始

旧出雲市議会から数えて六期目を迎え、また四月三〇日の市議会臨時会において、多くの議員の推挙により、

第三代議長の重責を務めることになりました。本市も合併から五年目を迎え、この間まさに新市の基本的なフレームづくりと市民の一体感の醸成に努めてまいりました。本市の厳しい経済環境、雇用状況が続く中、今後は、市の悪化した財政状況の改善に早急に取り組みと共に、過疎化、少子高齢化の進展に負けないよう、高度化・多様化する市民のニーズにもしっかりと対処してまいります。

市議会としても、長

三回シリーズで議員紹介をします。(原稿は議員自身が執筆しています。)

岡市長とともに、豊かに発展する出雲市のまちづくりをまい進する所存であり、市民の皆さまの格別のご理解とご協力をお願いいたします。



みやもと とおる
宮本 亨

平成三年初当選以来、今日までお陰様で色々な事業に携わらせていただきました。中でも斐伊川神戸川治水事業は、私にとつてのライフワークです。出雲市全体で、用地買収面積三二二ha、家屋移転四三七戸。その中でも私の地元菅沢地区では、川の無い所に川を造るといふ計画のもと、買収面積は、グリーンステップ用地を含めると約一〇〇ha、家屋移転三〇戸(その内三戸の再移転)を余

来、今日までお陰様で色々な事業に携わらせていただきました。中でも斐伊川神戸川治水事業は、私にとつてのライフワークです。出雲市全体で、用地買収面積三二二ha、家屋移転四三七戸。その中でも私の地元菅沢地区では、川の無い所に川を造るといふ計画のもと、買収面積は、グリーンステップ用地を含めると約一〇〇ha、家屋移転三〇戸(その内三戸の再移転)を余

儀なくされました。平成六年五月に塩冶町半分地区で工事の起工式が盛大に行われましたが、工事も愈々最終段階に入つて来ました。この事業にご尽力された方々、ご協力頂いた方々の思いを大事にし、立派に完成することを期待しております。これからも『ここで暮せて幸せ』な出雲市の安全安心な街づくりに誠心誠意努力する覚悟でございます。

阿國座問題の反省から、長岡市長は情報公開の徹底、財政の健全化を進めることを約束されました。議会も市民の代表として、常に民意を汲み取る努力を怠つてはなりません。市長は「最終的には納税者たる市民の民意に従う」と、住民投票にも一定の理解を示されています。本来なら、



たかとし はら
原 隆利

議会の判断がイコール住民意思でなくてはなりません。過信やおごりがその判断を鈍らすようです。

「がんこに正論、たおやかな政治」を私の政治信条としています。施政は公平・公正でなければなりません。だからと言つて、

まで安心して生活できる「徹底した福祉の充実」と、若者が生き生きとして働き、定住できることなど、安全で安心な生活環境や生活基盤の整備が必要です。財政の健全化とともに、市民の皆さまの負担が増えないように全力で取り組みます。

青少年が夢を持つ地域で活動できるように、地域の特性を活かした地域コミュニティ・ボランティア・NPOなど広範な人々の「協働のまちづくり」を確立したいと思

経済が低迷して、子どもから大人まで安心して生活ができないようなことが、全国的におきています。命を大切に、人と人との思いやりを持つ豊かな地域社会づくりが必要です。



たかくわ こうし
多 久 和 康 司

地方自治の発展を求めて二十四年間、微力ながら故郷の発展を願

今、国内外とともに

今、国内外とともに

今、国内外とともに

今、国内外とともに



あらかし たかし
荒木 孝

今、国内外とともに

今、国内外とともに

厳しい時代を迎えています。道州制を睨みながら地方分権改革を巡る議論が深まる中、政権の交代もあり、ますます地方自治体の基盤、力量が問われ、市議会の役割、責任が重くなりました。これから四年間、少子・高齢化社会が進む中、若者定住・子育て支援、産業の振興、教育、医療福祉、環境など行政課題に長年の行政経験を活かした取り組み、公正、公平を旨とし市民の安心安全の確保に努め、住民自らが地域をつくる「市民が主役のまちづくり」を推進してまいります。



ながさきとしゆき
長廻利行

合併後の四年間が勝負というところで、これまで執行部とともに新市発展の種まきをしてきました。二期目のこれから、それらを芽生えさせる四年間です。

総合産業と言われる『観光』のグレードアップが出雲市発展の切り札であり、大社門前町の活性化が市全体の発展に繋がるものと信じて活動してきました。大社門前町の再生整備は着実に進んでおり、加えて六十年ぶりの出雲大社の平成の大遷宮も始まり、門前町はかつての賑わいを取り戻しつつあります。この機を逸することなく、活性化に向けては、官民が一体となって事業を進めていく必要があります。今後、市民が誇りと自信を持つことができ、元氣な出雲市となるよう議会活動に専念してまいります。



ふくわかやまざあ
古福康雅

旧大社町時代を通算し、行政にかかわり十四年が経過しました。

『温故知新』の座右

の銘を心し、出雲神話観光大国の建設交流人口一、〇〇万人の達成に向け、生まれ育った出雲大社の門前町の果たす役割を十分自覚し、さらに、出雲阿国座建設事業は中止となったものの、歌舞伎の始祖・出雲阿国の顕彰はさることながら、それに代わる門前町再生の事業展開を地域の皆さまと十分検討し、平成二十五年に迎える出雲大社正遷宮を、わが町の将来を占うありがたい一遇のチャンスと捉え、訪れる方々を心からお迎えするまちの基盤整備のために尽力してまいります。



ぜんごちんべ
全吾 珍部

昭和五十四年、出雲市議会に初当選してから三十年が過ぎました。(市長選での落選の結果、議員生活は二十六年になります) 当時の写真を見直すと約半

数の方々が他界されており、歳月の重みを実感しております。現在の日本はまさに戦後続いた政権政党の自民党も昨年八月行われた衆院選挙で惨敗し、ついに政権交代が実現しました。その流れは地方にも拡がり、各地で地殻変動が起こっています。全国一若い市長として誕生した千葉市の熊谷氏は、その代表選手と言えるでしょう。彼と私の長男は千葉に在住の時から飲み友達のようにです。

政権・世代交代の波を極身近に感じつつも、今までの経験を一杯議員活動に生かし、邁進する所存です。



としゆきすぎたに
寿之 杉谷

平成二十五年五月は、出雲大社の六十年に一度の大遷宮が挙行

されます。おそらく何百万の方々が全国は元より、世界から参拝されるでしょう。さて、我が市は、どのようにこれに対処するのか。昭和二十八年に行われた「昭和の大遷宮」は、当時の大社町が「神国博覧会」を開催し、全国に出雲大社を発信することに成功しています。合併し、行政規模の大きくなった今日、遷宮というチャンスはいかにモノにするかが問われます。出雲大社のひざ元で生まれ育った議員として、「平成の大遷宮」の成功が、出雲市の将来の発展につながることを信じて、二期目を全うしたいと思います。



まさひろてらだ
昌弘 寺田

新出雲市が誕生して、五年目に入りました。行政、議会、市民共々にまだ一体感な

り、合併前に色々議論されたこと、夢に描いたことの実現には時間が必要だと感じています。今一つは、国の公共投資(この近年で五、〇〇〇億円)による出雲の景気の下支えが近い間に終了するわけですが、今後の出雲の核をどうすべきか重大な問題です。この経済のあり方の方向性を間違えると、若者の出雲での定着率の減少は言うに及ばず、高齢化、少子化ひいては人口の急激な減少と出雲の地盤沈下は避けられませんが、

こうした中、観光産業を核とする選択肢を中心に各産業の活性化しかないと思われまます。松江市に負けない観光立市を目指したいものと思います。市民一体となる市を切望します。



